

郷愁のジンタの響きで魅了

「ダースコちんどん隊」ライブ

開港10年を迎えた大館能代空港のターミナルビルで1月20日、潟上市を拠点に活動を続けている音楽グループ「ダースコちんどん隊」のライブが開かれました。

会場となったロビーには、200人を超える観衆が詰め掛け、着物姿の同チンドン隊が大正・昭和の香り漂う見せ物小屋調の口上に続き、「サーカスのジンタ」として演奏される「美しき天然」を披露。オッペケペー節、浅草オペラ風の歌と演奏など昔懐かしい芸が次々と演じられると、そのつど大きな拍手が沸き起こっていました。

終盤には、子どもたちを交え会場を動き回りながら郷愁と楽しさあふれるパフォーマンスで聴衆を魅了しました。



懐かしいちんどん芸を披露した「ダースコちんどん隊」

生演奏で園児と触れ合う

阿仁中学校ブラスバンド部（部員23名）が

1月10日、「キッズライブ2008」と題して阿仁合保育園で演奏会を行いました。

演奏会は、職場体験で同保育園を訪れた部員が、園児たちに自分たちの演奏を聞かせたいと企画したもので、園児向けに選曲したアニメソングなどを披露しました。

園児たちは、初めて見る楽器に興味津々で、タンバリンやマラカスを手に一緒に演奏したり、歌ったりするなど大はしゃぎ。

テンポよく迫力ある演奏に小さな観客たちから何度もアンコールの声があがるなど、演奏する部員も園児たちも終始笑顔で楽しい演奏会となりました。



タンバリンでリズムの取り方を教わる園児



JA青年部の米沢部長が菅笠にけら姿という昔ながらのスタイルでセレモニーを行った「雪中田植え」

田の神に大豊作を祈願

「民俗行事「雪中田植え」

稲作の豊凶を占う小正月行事「雪中田植え」が1月15日、綴子・大太鼓の館前で行われ、JAなどの関係者約50人が田の神にお神酒を供え、豊作を祈願しました。

雪中田植えは、農家が一年の仕事始めの儀式として水田に見立てた雪の上に、稲わらや豆がらを混ぜた「苗」を植え、一年の作柄を占う民俗行事です。

大太鼓の館入り口前に特設された雪田に米沢智剛青年部長が、けら、菅笠姿の昔ながらの装いで30センチ間隔で4条に4株ずつ計16束の「苗」を植え付け、虫除けや田の目印となるすず払いのわらぼうきで雪田の御祓いなどを行ない、大豊作と米価の上昇などを祈願しました。

地域発展への思い新たに交流深める

「鷹巣地区新春交流会、合川地区新春交流会、阿仁森吉新春交流会」

新年を迎えた各地区では、毎年恒例の新春交流会が開かれ、地域発展への思いを新たにし、祝舞や抽選会などで交流を深めました。

鷹巣地区新春交流会は1月10日、市中央公民館で開かれ、地区商工会会員、行政関係者、自治会役員などおよそ400人が参加して新年を祝い合いました。

式典で伊藤公夫商工会長は「今年も地域一丸となつて市の活性化のために頑張りましょう」と、意欲を述べました。

合川地区新春交流会は11日、サンシャインあいかわで、各団体などの代表者ら約150人が参加して開かれ、佐藤吉廣商工会長が「全国植樹祭では全国に北秋田市の存在を示したい。市

と皆さんの発展、躍進に向け元気を出し、良い年としたい」と述べました。

また、阿仁森吉地区の新春交流会が16日、森吉コミュニケーションセンターで開かれ、市民や関係者約170名が参加し、地域の発展と連携を願い交流を深めながら、新春を祝いました。

北林昭男実行委員長は「4月からは新生商工会が誕生する。森吉山を核とした観光産業、農林産業の振興を行政と一体となつて取り組み地域の活性化につなげたい」などとあいさつしました。

各地区とも祝宴が始まると参加者は、それぞれ席を移動しながら新年のあいさつを交わすとともに、地域の話題などで交流を深め合っていました。



上 市民など約400人が参加した鷹巣地区新春交流会
中 地域の話題などで交流を深めた合川地区新春交流会
下 地域の発展を願い、参加者全員で万歳三唱した阿仁森吉新春交流会

未然に事件事故を防止

「北秋田地区防犯指導隊連合会と交通指導隊連合会の査閲式」

北秋田地区防犯指導隊連合会（畠山東会長）と北秋田地区交通指導隊連合会（長岐兼雄会長）の交通安全祈願式と査閲式が1月12日、森吉支所で行われました。

祈願式では1年間の無事故と事故防止を祈願し、その後岸部市長、小林宏農上小阿仁村長、戸松好造北秋田警察署長による査閲が行なわれました。

畠山会長は「我々隊員は『真』の絆を持ち、人と人の繋がりを大切にしながら防犯活動を行いたい」、長岐会長は「今年は植樹祭という大きなイベントがあるので、隊員一丸となつて気を引き締めて対応にあたりたい」とそれぞれ決意を述べました。



交通指導隊の査閲を行う岸部市長、小林村長ら